

人に未来を。医療に明日を。



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月7日

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-6811-2958
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	126,713	7.1	680	△38.0	899	△33.0	505	△41.2
2023年6月期第2四半期	118,304	5.4	1,097	△34.5	1,342	△30.4	859	△39.9

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 514百万円(△21.1%) 2023年6月期第2四半期 652百万円(△61.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	23.03	22.93
2023年6月期第2四半期	39.19	39.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	112,609	18,604	16.5
2023年6月期	97,455	18,572	19.1

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 18,604百万円 2023年6月期 18,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	3.7	1,000	△46.8	1,600	△34.0	1,000	△33.2	45.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年6月期2Q	21,925,104株	2023年6月期	21,925,104株
2024年6月期2Q	958株	2023年6月期	958株
2024年6月期2Q	21,924,146株	2023年6月期2Q	21,924,146株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境においては、医療機関に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症の位置付けが感染症法上の5類感染症に移行したこともあり、医療需要は回復してきております。一方、本感染症の感染拡大に端を発し、増加している医療機関における感染対策に係るコストは今後も医療機関の経営を圧迫するものであり、政府による感染症対策に係る支援の縮小も見込まれることから医療経営は厳しさを増していくものと認識しております。また、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や為替変動による物価上昇等の影響に起因するコスト増加が続くことも懸念され、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、持続可能な医療体制構築に向けて、製品の安定供給並びに顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比較して医療需要が回復したことで手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルスの検査に係る試薬及びPPE(個人用防護具)等の感染対策に関わる製品については需要の落ち着きに伴い販売が減少いたしました。売上総利益においては、ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、増収に伴い拡大しております。

販売費及び一般管理費につきましては、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用及びベースアップの実施により人件費が増加いたしました。加えて、セキュリティ強化及び法令対応に伴うシステム関連費用の発生、太田ディストリビューションセンターに関する固定資産税の増加及び物流関連コストの増加により前年同四半期と比較して増加しております。

また、ノアインターナショナル㈱を2022年10月に完全子会社化したことも業績に寄与しておりますが、販売費及び一般管理費の増加により全体としては増収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は126,713百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は680百万円(同38.0%減)、経常利益は899百万円(同33.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は505百万円(同41.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業については、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の備品案件の販売が減少したものの、新築案件に係る備品の販売があったことで、備品販売は前年同四半期と比較して増加しました。一方、消耗品については、検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルスに係る製品の販売は減少しましたが、整形外科領域を中心に手術室関連製品の販売が拡大したことで前年同四半期と比較して好調に推移し、売上高、売上総利益及びセグメント利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

この結果、売上高は123,824百万円(前年同四半期比7.1%増)、売上総利益は14,033百万円(同5.0%増)、セグメント利益(営業利益)は4,631百万円(同1.3%増)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業及びストーマ製品の販売が好調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高、売上総利益及びセグメント利益は増加いたしました。

この結果、売上高は2,888百万円(前年同四半期比6.2%増)、売上総利益は1,112百万円(同5.5%増)、セグメント利益(営業利益)は200百万円(同2.0%増)となりました。

(注) 当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……

国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から15,154百万円増加し、112,609百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から14,472百万円増加し、90,700百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,698百万円、受取手形及び売掛金が9,861百万円、商品及び製品が1,042百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から681百万円増加し、21,909百万円となりました。これは有形固定資産が135百万円、無形固定資産が392百万円、投資その他の資産が153百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から15,122百万円増加し、94,005百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から15,258百万円増加し、86,800百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が8,573百万円、短期借入金が7,384百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から135百万円減少し、7,204百万円となりました。これは主に長期借入金が192百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から31百万円増加し、18,604百万円となりました。これは主に利益剰余金が22百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ3,716百万円増加し、14,008百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,502百万円の支出(前年同期は3,333百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益894百万円、仕入債務の増加額8,573百万円等の収入要因が、売上債権の増加額9,860百万円、棚卸資産の増加額1,060百万円等の支出要因を下回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,450百万円の支出(前年同期は291百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、保険積立金の解約による収入55百万円等の収入要因が、有形固定資産の取得による支出548百万円、無形固定資産の取得による支出121百万円、事業譲受による支出550百万円、長期前払費用の取得による支出254百万円等の支出要因を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,670百万円の収入(前年同期は3,496百万円の収入)となりました。

主な要因としましては、短期借入金の純増額7,550百万円、長期借入れによる収入240百万円等の収入要因が、長期借入金の返済による支出598百万円、配当金の支払額480百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,330,262	14,028,736
受取手形及び売掛金	50,267,866	60,129,205
商品及び製品	11,845,054	12,888,005
原材料及び貯蔵品	12,027	24,440
その他	3,877,922	3,733,621
貸倒引当金	△105,033	△103,209
流動資産合計	76,228,099	90,700,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,093,753	6,318,396
機械装置及び運搬具（純額）	843,545	773,888
土地	3,291,308	3,408,187
その他（純額）	790,280	653,441
有形固定資産合計	11,018,886	11,153,914
無形固定資産		
のれん	844,307	1,269,020
その他	1,163,383	1,131,079
無形固定資産合計	2,007,690	2,400,099
投資その他の資産		
その他	8,226,461	8,381,382
貸倒引当金	△25,384	△26,341
投資その他の資産合計	8,201,076	8,355,040
固定資産合計	21,227,653	21,909,055
資産合計	97,455,753	112,609,855

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,542,782	61,116,086
短期借入金	14,965,395	22,349,642
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	323,712	455,522
賞与引当金	45,448	46,063
役員賞与引当金	143,914	45,910
株式報酬引当金	-	84,994
資産除去債務	9,912	-
その他	3,504,597	2,695,604
流動負債合計	71,542,762	86,800,822
固定負債		
社債	15,000	11,500
長期借入金	4,580,404	4,388,166
債務保証損失引当金	100,460	103,688
株式報酬引当金	78,257	-
退職給付に係る負債	1,388,578	1,431,602
資産除去債務	136,159	136,241
その他	1,042,062	1,133,773
固定負債合計	7,340,921	7,204,972
負債合計	78,883,684	94,005,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,769	1,344,769
資本剰余金	2,671,008	2,671,008
利益剰余金	12,692,118	12,714,801
自己株式	△450	△450
株主資本合計	16,707,446	16,730,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,874,543	1,878,701
退職給付に係る調整累計額	△9,920	△4,770
その他の包括利益累計額合計	1,864,623	1,873,931
純資産合計	18,572,069	18,604,060
負債純資産合計	97,455,753	112,609,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	118,304,409	126,713,055
売上原価	103,882,760	111,574,272
売上総利益	14,421,648	15,138,782
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△13,103	△641
株式報酬引当金繰入額	6,482	9,643
給料及び手当	5,384,171	5,927,365
従業員賞与	1,260,185	1,358,342
賞与引当金繰入額	40,691	43,763
役員賞与引当金繰入額	25,000	33,985
退職給付費用	272,394	280,720
法定福利費	1,027,197	1,144,292
減価償却費	536,712	505,480
賃借料	1,072,916	1,122,051
業務委託費	1,187,166	1,205,395
その他	2,524,493	2,827,613
販売費及び一般管理費合計	13,324,307	14,458,010
営業利益	1,097,341	680,772
営業外収益		
受取利息	952	486
受取配当金	51,170	18,637
仕入割引	155,655	157,780
債務保証損失引当金戻入額	4,174	-
その他	93,634	116,113
営業外収益合計	305,588	293,017
営業外費用		
支払利息	43,295	45,979
持分法による投資損失	7,659	12,083
債務保証損失引当金繰入額	-	3,228
その他	9,865	12,741
営業外費用合計	60,819	74,032
経常利益	1,342,110	899,757
特別利益		
固定資産売却益	4,848	3,491
投資有価証券売却益	108,328	-
特別利益合計	113,177	3,491
特別損失		
固定資産売却損	1,840	463
固定資産除却損	1,069	2,658
減損損失	9,916	5,610
特別損失合計	12,826	8,732
税金等調整前四半期純利益	1,442,460	894,516
法人税、住民税及び事業税	368,756	443,496
法人税等調整額	214,423	△53,995
法人税等合計	583,180	389,501
四半期純利益	859,280	505,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	859,280	505,014

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	859,280	505,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215,029	4,157
退職給付に係る調整額	7,812	5,150
その他の包括利益合計	△207,217	9,308
四半期包括利益	652,062	514,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652,062	514,322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,442,460	894,516
減価償却費	710,516	708,345
のれん償却額	102,148	125,286
減損損失	9,916	5,610
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	53,764	50,859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,230	△866
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,791	615
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△106,879	△98,004
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	3,486	6,736
受取利息及び受取配当金	△52,123	△19,123
支払利息	43,295	45,979
固定資産売却損益(△は益)	△3,007	△3,027
固定資産除却損	1,069	2,658
投資有価証券売却損益(△は益)	△108,328	-
持分法による投資損益(△は益)	7,659	12,083
役員退職慰労金	△50,009	-
売上債権の増減額(△は増加)	△5,630,313	△9,860,697
棚卸資産の増減額(△は増加)	△983,567	△1,060,922
リース投資資産の増減額(△は増加)	22,831	25,401
その他の流動資産の増減額(△は増加)	247,116	△541,820
仕入債務の増減額(△は減少)	2,464,393	8,573,303
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4,174	3,228
未払消費税等の増減額(△は減少)	291,881	△728,898
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△146,381	△8,262
その他	△7,043	28,195
小計	△1,718,308	△1,838,803
利息及び配当金の受取額	51,377	18,968
利息の支払額	△44,017	△46,882
法人税等の支払額	△1,838,645	△435,578
法人税等の還付額	216,259	799,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,333,335	△1,502,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,714	△18,714
定期預金の払戻による収入	37,096	37,097
有形固定資産の取得による支出	△282,114	△548,077
有形固定資産の売却による収入	41,205	3,503
有形固定資産の除却による支出	△0	△4,173
無形固定資産の取得による支出	△112,061	△121,292
投資有価証券の取得による支出	△8,884	△3,906
投資有価証券の売却による収入	216,423	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	65,541	-
事業譲受による支出	-	△550,000
貸付金の回収による収入	13,050	14,695
長期前払費用の取得による支出	△252,433	△254,432
敷金及び保証金の差入による支出	△60,512	△79,272
敷金及び保証金の回収による収入	75,921	35,617
保険積立金の積立による支出	△15,053	△12,337
保険積立金の解約による収入	9,739	55,452
その他	△296	△4,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,094	△1,450,793

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,998,536	7,550,000
長期借入れによる収入	600,000	240,200
長期借入金の返済による支出	△647,203	△598,191
リース債務の返済による支出	△38,744	△41,107
配当金の支払額	△415,688	△480,444
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,496,900	6,670,457
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△127,529	3,716,856
現金及び現金同等物の期首残高	9,067,024	10,291,467
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,939,494	14,008,323

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	115,583,589	2,720,819	118,304,409	—	118,304,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	—	81	△81	—
計	115,583,671	2,720,819	118,304,490	△81	118,304,409
セグメント利益	4,570,965	196,621	4,767,586	△3,670,245	1,097,341

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,670,245千円には、セグメント間取引消去40,773千円、のれん償却額△102,148千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,608,869千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、9,916千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	123,824,905	2,888,150	126,713,055	—	126,713,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,924	—	6,924	△6,924	—
計	123,831,829	2,888,150	126,719,979	△6,924	126,713,055
セグメント利益	4,631,679	200,521	4,832,200	△4,151,427	680,772

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,151,427千円には、セグメント間取引消去19,318千円、のれん償却額△125,286千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,045,459千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、5,610千円であります。